

## 第2章 遺跡の地理的歴史的環境

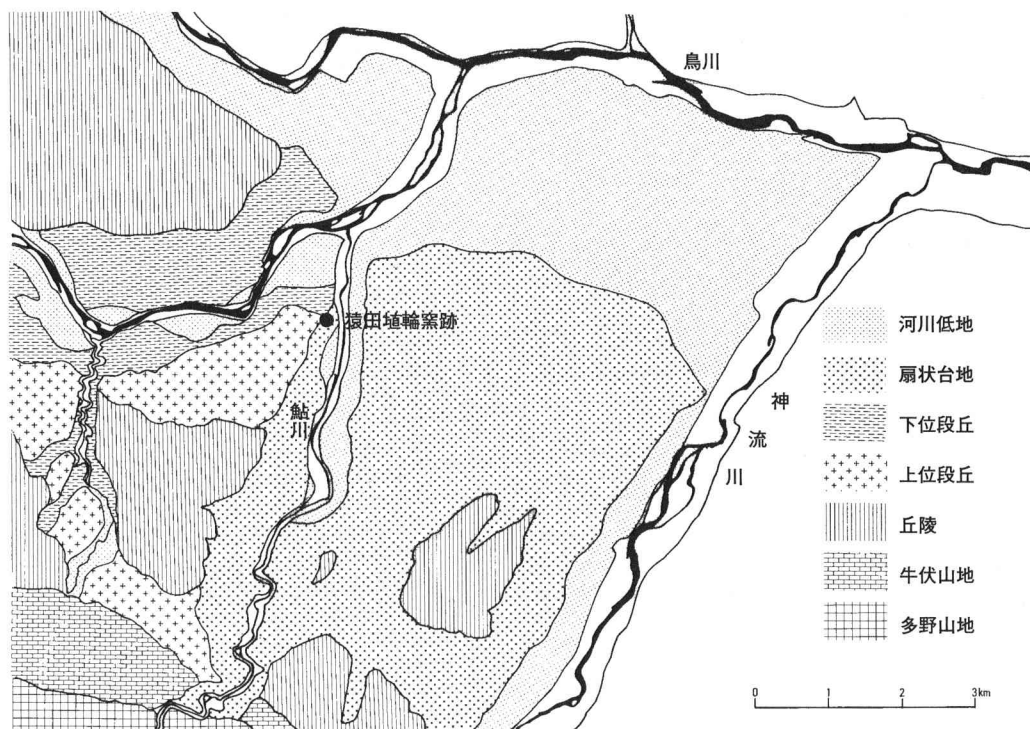
### 第1節 地理的環境

藤岡市は群馬県南西部に位置している。東は神流川を境に埼玉県と県境をなし、西は関東山地の続きをなす丘陵地形で多野郡吉井町と接している。南は多野郡鬼石町と接している。関東山地の北縁にあたり、西御荷鉾山（1,246 m）や赤久縄山（1,522 m）がある。北は鮎川・鳥川を境に高崎市と接している（第1図）。

地形は第3図<sup>(1)</sup>に示すとおり、鮎川上流の日野地区で牛伏山地・多野山地、美九里・平井地区で岩野谷丘陵や多野丘陵と藤岡地区の庚申山丘陵（独立丘陵）が分布している。また、鮎川と神流川により形成された藤岡台地（扇状地）の藤岡・美土里地区、さらに藤岡台地の北は鮎川・鳥川の氾濫による低地の小野・神流地区である。地質をみると、多野山地は結晶片岩を主体とする変成岩で構成され、牛伏山地や丘陵は第三紀層から構成されている。台地（扇状地）や河岸段丘、低地は第四紀堆積物で覆われている。

本遺跡はJR八高線群馬藤岡駅の西方約3.8kmの平井地区と美土里地区の境にあたり、遺跡の西側を県道金井・倉賀野線停車場線が南北に走行している。周辺の地形を詳しくみると、遺跡は鮎川に形成された河岸段丘の下位段丘面に占地し、東側は鮎川との比高が約10 mあり急峻な崖になっている。西側は鮎川の上位段丘下を猿田川が南北流し、幅100 mほどの開折谷が形成されている。

（志村 哲）



第3図 藤岡市周辺の地形図

## 第2節 歴史的環境

ここでは、藤岡市内の古墳を中心に概観してみたい（第4図。第1表。以下、遺跡名の後の番号はこの表に同じ。）。古墳は、藤岡台地を形成した神流川・鮎川流域の河岸段丘上と洪積平野を背景にした台地の縁辺に分布している。昭和10年の県下一斉古墳調査によれば、8,423基の古墳が数えられ群馬県の約14%を占めている。

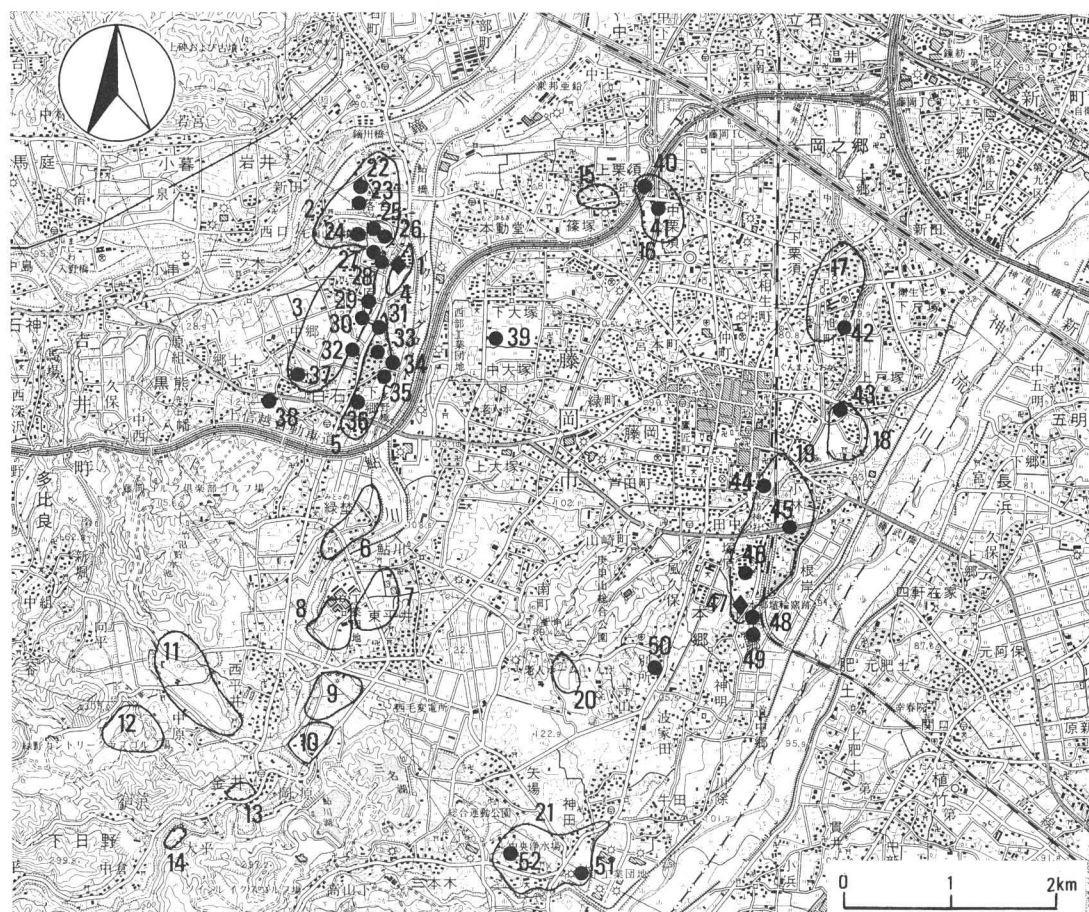
市内の初期古墳は神流川流域の神田・三本木地区に出現する。神田地区では舶載鏡の「長宜子孫」銘八花文内行花文鏡が伝えられている。また、三本木地区では三本木古墳出土と伝えられる変形六神二獣鏡・三角縁二神二獣鏡・銅鏝・紡錘車・鉄器の一群と舶載鏡の張氏作三神五獣鏡・有銘四神四獣鏡・陳氏作神人車馬画像鏡3面の一群がある。このうち、張氏作三神五獣鏡は京都府椿井大塚山古墳や奈良県黒塚古墳出土の鏡と、陳氏作神人車馬画像鏡は岡山県湯迫車塚古墳出土の鏡と同範鏡である。現在、丘陵の頂上に占地している浅間神社古墳(52)が前期古墳と推定されている。その後、堀ノ内遺跡群(45)で底部穿孔土器を出土したCK-2号古墳、DK4号古墳などの前方後方墳や仿製振文鏡や滑石製模造品を出土した稲荷塚古墳(42)に後続される。中期になると、鮎川流域に古墳の中心は移り、5世紀前半に市内最大級の前方後円墳である白石稲荷山古墳(30)と十二天塚古墳・十二天北古墳(29)が出現する。その後、白石古墳群七輿山支群(2)に舟形石棺を有する宗永寺裏東塚古墳(26)が5世紀後半に出現し、6世紀前半の七輿山古墳(24)、後半の宗永寺裏西塚古墳(25)へと前方後円墳が継続する。不正八角形墳の伊勢塚古墳(22)を含み、7世紀まで継続して古墳が造られる。また、藤岡台地の縁辺にあたる篠塚A古墳群(16)の上栗須遺跡(41)でも5世紀後半の3号墳が出現し、その後、5世紀末から6世紀前半に位置付けられる同遺跡2号墳や6世紀前半の上栗須寺前遺跡(40)6号墳へ継続され、7世紀まで古墳が造られる。神流川流域では小林古墳群(19)の小林C号墳に初期横穴式石室が導入され、その後、単鳳環頭大刀を出土した諏訪古墳(44)・本郷二子山古墳(46)を中心に7世紀まで継続して古墳が造られる。

猿田埴輪窯跡(1)は鮎川流域の白石古墳群猿田支群に占地し、窯跡のすぐ脇まで古墳が造られている。窯は鮎川と猿田川にはさまれた台地の両側で確認されている。周辺の集落としては、5世紀代の住居址が検出されている猿田遺跡(31)・滝遺跡(32)や6世紀前半から後半にかけての大集落となる上落合岡遺跡(23)がある。特に、上落合岡遺跡では七輿山古墳の円筒埴輪を住居に転用して使うなど関係が深いとみられる。一方の本郷埴輪窯址(47)は、神流川流域の小林古墳群(19)に隣接し、猿田埴輪窯跡同様に窯址のすぐ脇まで古墳が造られている。窯は神流川の河岸段丘に沿った南北500mに沿って分布する拠点的な生産地である。周辺の集落としては、5世紀後半から6世紀前半の住居址が検出されている宮下Ⅱ遺跡(48)や5世紀から6世紀後半にかけての大集落となる堀ノ内遺跡群(45)、6世紀後半の住居址が検出されている宮下Ⅲ遺跡(49)がある。

6世紀後半になると集落や古墳が爆発的に増加する。神流川流域では、高橋塚古墳(51)を中心に神田・三本木古墳群(21)が形成される。下流では主頭大刀を出土した戸塚神社古墳を中心とする野見塚古墳群(18)や円墳を主体とする戸塚古墳群(17)が形成される。鮎川流域では、市内最大級の東平井古墳群が形成される。この古墳群は時沢支群(7)・飛石支群(8)・塚間支群(9)・川破支群(10)で構成され、円墳主体で7世紀まで継続して造られる。特に塚間支群の平井地区140号古墳からは七輿山古墳の系譜を引く貼付口縁の円筒埴輪が出土している。下流では単鳳環頭大刀・方頭大刀・

頭椎大刀を出土した白石二子山古墳や銀製圭頭椎大刀を出土した萩原塚古墳(33)を中心とする白石古墳群下郷支群(5)が形成される。銀象嵌頭椎大刀を出土している新領塚古墳(34)や堀越塚古墳(35)・天王塚古墳(36)などを含み7世紀まで継続して古墳が造られる。ここでは江原塚古墳から、七輿山古墳の系譜を引く貼付口縁の円筒埴輪が出土している。また、6世紀後半の単龍環頭大刀を出土した皇子塚古墳(28)や単鳳環頭大刀・銀象嵌円頭大刀を出土した平井地区1号墳(27)を中心とする白石古墳群稲荷山支群(3)が形成される。截石積みの横穴式石室を有する喜蔵塚古墳(37)や境塚古墳(38)を含み、7世紀まで継続して古墳が造られる。さらに円墳を主体とする白石古墳群猿田支群(4)でも7世紀まで継続して古墳が造られる。鮎川右岸では、市内最大級の横穴式石室を有する平地神社古墳(39)を中心に古墳群が形成されるが、大半は消滅しているため不明である。

7世紀になると、新たな地に古墳群が形成されるようになる。神流川流域では独立丘陵の庚申山丘陵の南側に小規模な古墳群(20)がみられ、周辺には6世紀後半の堂山古墳(50)がある。鮎川流域では、上流の丘陵部に南坂古墳群(11)や金山下古墳群(12)、鮎川沿いの金井・下日野地区に小規模な古墳群(13・14)、中流に緑埜古墳群(6)が形成される。特に南坂古墳群・金山下古墳群・緑埜古墳群の周辺には大規模な須恵器窯跡群が存在することから須恵器生産に関係する古墳群と推定される。(志村 哲)



第4図 古墳分布図

第1表 遺跡分布一覧表

番号	遺跡名	所在地	概 要
1	猿田埴輪窯跡	藤岡市白石字猿田	埴輪窯4基・灰原調査。
2	白石古墳群七興山支群	藤岡市上落合	七興山古墳を中心とする古墳群。分布調査で16基の古墳確認。5世紀後半から7世紀にかけて築造。
3	白石古墳群稲荷山支群	藤岡市白石	白石稲荷山古墳を中心とする古墳群。分布調査で9基の古墳を確認。5世紀前半、6世紀後半から7世紀にかけて築造。
4	白石古墳群猿田支群	藤岡市白石	分布調査で17基の古墳確認。円墳で構成。
5	白石古墳群下郷支群	藤岡市白石	萩原塚古墳を中心とする古墳群。分布調査で55基の古墳を確認。6世紀後半から7世紀にかけて築造。
6	緑壁古墳群	藤岡市緑壁・白石	分布調査で6基の古墳を確認。円墳で構成。
7	東平井古墳群時沢支群	藤岡市東平井	分布調査で17基の古墳確認。
8	東平井古墳群飛石支群	藤岡市東平井	分布調査で51基の古墳確認。
9	東平井古墳群塚間支群	藤岡市東平井	分布調査で52基の古墳確認。6世紀後半から7世紀にかけて築造。このうち平井地区142号墳では貼付口縁の円筒出土。
10	東平井古墳群川破支群	藤岡市東平井	分布調査で27基の古墳を確認。
11	南坂古墳群	藤岡市西平井	分布調査で28基の古墳を確認。丘陵地に分布し7世紀に築造。
12	金山下古墳群	藤岡市金井	調査で7基の円墳を確認。丘陵地に分布し、7世紀に築造。
13		藤岡市金井	分布調査で5基の古墳を確認。丘陵裾部に分布し、7世紀に築造。
14		藤岡市金井・下日野	分布調査で3基の古墳を確認。丘陵裾部に分布し、7世紀に築造。
15	篠塚B古墳群	藤岡市篠塚	大半の古墳が消滅。分布調査で2基の古墳を確認。7世紀に築造。
16	篠塚A古墳群	藤岡市上栗須	分布調査では2基の古墳しか確認できなかったが、調査により8基の古墳確認。5世紀後半から7世紀にかけて築造。
17	戸塚古墳群	藤岡市下戸塚	分布調査で61基の古墳確認。4世紀後半の稲荷塚古墳以外は6世紀後半から7世紀にかけて築造。円墳で構成。
18	野見塚古墳群	藤岡市上戸塚・小林北	戸塚神社古墳を中心とする古墳群。分布調査で16基の古墳確認。6世紀後半から7世紀にかけて築造。
19	小林古墳群	藤岡市小林・根岸・本郷	諏訪古墳・本郷二子山古墳を中心とする古墳群。分布調査で154基の古墳を確認。4世紀の前方後方墳も分布し、古墳群は6世紀前半から7世紀にかけて築造。
20		藤岡市藤岡	分布調査で2基の古墳を確認。庚申山丘陵の南に分布し、大半は消滅。7世紀に築造。
21	神田・三本木古墳群	藤岡市神田・三本木	高橋塚古墳を中心とする古墳群。分布調査で142基の古墳を確認。三角縁神獣鏡・銅鏝等を出土した三本木古墳以後は6世紀後半から7世紀にかけて築造。
22	伊勢塚古墳	藤岡市上落合字岡	県指定史跡。径27.6mの不正八角形墳。胴張り、模様積みの横穴式石室。埴輪を伴う。6世紀後半築造。
23	上落合岡遺跡	藤岡市上落合字岡	4世紀、6世紀前半～後期の集落調査。住居址に七興山古墳の円筒埴輪を転用して使用。
24	七興山古墳	藤岡市上落合字七興	国指定史跡。全長146mの前方後円墳で、二重周溝を巡らし、前方部には三重の溝が巡る。7条突帯の大型円筒埴輪。6世紀前半築造。
25	宗永寺裏西塚古墳	藤岡市上落合字七興	全長48mの前方後円墳で、横穴式石室を有し、板押さの底部調整埴輪を伴う。6世紀後半築造。
26	宗永寺裏東塚古墳	藤岡市上落合字七興	全長51mの前方後円墳で、舟形石棺を有し、石棺内から小札・馬鐙等が出土する。埴輪を伴う。5世紀後半築造。
27	平井地区1号古墳	藤岡市三ツ木字東原	県指定史跡。全長24mの円墳で、石室から単鳳環頭大刀・銀象嵌円頭大刀等が出土、埴輪を伴う。6世紀後半築造。出土品は国重要文化財。
28	皇子塚古墳	藤岡市三ツ木字東原	県指定史跡。全長31mの円墳。複室構造の横穴式石室に墓道状の前庭が附設され、単鳳環頭大刀出土。埴輪を伴う。6世紀後半築造。
29	十二天塚北古墳	藤岡市白石字稲荷原	国指定史跡。白石稲荷山古墳の陪塚で全長23mの方墳、礫礫を有する。5世紀前半築造。
29	十二天塚古墳	藤岡市白石字稲荷原	国指定史跡。白石稲荷山古墳の陪塚で全長36.8mの長方形墳、礫礫から直刀・鉄鉾・石製模造品等が出土、埴輪を伴う。5世紀前半築造。
30	白石稲荷山古墳	藤岡市白石字稲荷原	国指定史跡。全長175mの前方後円墳で、並葬の竪穴式石槨。槨上部から家形埴輪、短甲が出土。5世紀前半築造。
31	猿田遺跡	藤岡市白石字猿田	5世紀前半の住居3軒、古墳3基調査。
32	滝遺跡	藤岡市白石字滝	5世紀前半の住居2軒、6世紀後半の住居1軒、古墳1基調査。
33	萩原塚古墳	藤岡市白石字滝	全長40mの前方後円墳。両袖型横穴式石室で銀製圭頭大刀出土。墳丘から出土した数3点は市指定重要文化財。6世紀後半築造。
34	新領塚古墳	藤岡市白石字滝	小規模の円墳で、横穴式石室と推定される。銀象嵌の頭椎大刀の柄頭、埴輪が出土。6世紀後半築造。
35	堀越塚古墳	藤岡市白石字滝	市指定史跡。径15mの円墳で、横穴式石室を有する。
36	天王塚古墳	藤岡市白石字洞	径24.5mの円墳で横穴式石室と推定。ひよこの埴輪出土。6世紀後半築造。
37	喜蔵塚古墳	藤岡市白石字中郷	市指定史跡。一辺25mの方墳で、截石積みの横穴式石室を有する。7世紀築造。

番号	遺跡名	所在地	概 要
38	境塚古墳	藤岡市白石字根岸	径23 mの円墳。截石積みの横穴式石室を有する。7世紀築造。
39	平地神社古墳	藤岡市中大塚字宮前	市指定史跡。径33 mの円墳。撥形の両袖型石室で模様積み。石室から直刀・金環・鉄鏃・馬具、墳丘から埴輪出土。6世紀後半築造。
40	上栗須寺前遺跡	藤岡市上栗須字薬師前	11基の円墳調査。6号墳は6世紀前半築造。径11 mの円墳で円筒・馬形埴輪出土。
41	上栗須遺跡	藤岡市上栗須字白山	8基の円墳調査。3号墳は5世紀後半築造。横刷毛の円筒や家形埴輪出土。2号墳は5世紀末から6世紀前半築造。
42	稲荷塚古墳	藤岡市下栗須字稲荷前	径21.6 mの円墳。粘土槨から捩文鏡・滑石模造品出土。4世紀後半築造。
43	戸塚神社古墳	藤岡市上戸塚字熊野	市指定史跡。全長53 mの前方後円墳で德利型の両袖型石室。石室から直刀・圭頭大刀出土。6世紀後半築造。
44	諏訪古墳	藤岡市藤岡字東裏甲	市指定史跡。全長57 mの前方後円墳で短冊形の両袖型石室。石室から卑鳳環頭大刀・挂甲出土。6世紀後半築造。
45	堀ノ内遺跡群	藤岡市小林字堀之内	古墳時代前期から後期までの継続集落と25基の古墳を調査。古墳は前方後方墳をはじめとする4世紀代の古墳群と6世紀前半から7世紀にかけて築造された古墳群に分かれる。
46	本郷二子山古墳	藤岡市本郷字塚原	全長33 mの前方後円墳。横穴式石室と推定。6世紀後半築造。
47	本郷埴輪窯址	藤岡市本郷字塚原	国指定史跡。埴輪窯2基を調査。このうち1基は保存。
48	宮下Ⅱ遺跡	藤岡市本郷字宮下	5世紀後半から6世紀前半の住居址2軒調査。
49	宮下Ⅲ遺跡	藤岡市本郷字宮下	6世紀後半の住居址6軒調査。
50	別所堂山古墳	藤岡市本郷字堂山	全長33 mの前方後円墳。截石積みの横穴式石室で埴輪を伴う。6世紀後半築造。
51	高橋塚古墳	藤岡市神田字塚間	全長24 mの前方後円墳。截石積みの両袖型横穴式石室で埴輪を伴う。6世紀後半築造。
52	浅間神社古墳	藤岡市神田	丘陵の頂上に作られた円墳、初期古墳と推定される。

## 註

(1) — 磯貝基一・藤岡市教育委員会 1999年「群馬県藤岡市滝下B遺跡周辺の河川」から引用。